

安全上のご注意

機器の知識、安全の情報、そして注意事項について熟知してからご使用ください。

人への危害、物的損害を防止するため、必ずお守りいただくことを説明しています。

本取扱説明書では、安全注意事項のランクを「危険」「警告」「注意」として区分してあります。

◆ 警告表示

	取扱を誤った場合、危険な状況が起こりえて、死亡または重傷を受ける可能性が想定される場合。
	取扱を誤った場合、危険状況が起こりえて、中程度の傷害や軽傷を受ける可能性が想定される場合、および物的損傷のみの発生が想定される場合。

なお、に記載した事項でも、状況によっては重大な結果に結びつく可能性があります。いずれも重要な内容を記載していますので必ず守ってください。

◆ 禁止、強制の絵表示

	禁止（してはいけないこと）を示します。
	強制（必ずしなければならないこと）を示します。



<ご使用上の注意>

- ◆ 爆発性、引火性および腐食性ガスの雰囲気、水および油のかかる環境や可燃物の近くでは、絶対に使用しない絶対に使用しないでください。感電、けが、火災、故障、破損の恐れがあります。
- ◆ 本機器を測定物と接続する作業や、測定準備のため移動させるなどの場合は、通電状態でおこなわないでください。必ず主電源を遮断し AC 電源ケーブルを抜いて、POWER ランプの消灯を確認した後に、作業をおこなってください。感電の恐れがあります。
- ◆ ぬれた手で本機器を使用しないでください。感電の恐れがあります。
- ◆ 絶対に分解したり修理、改造を行わないでください。感電、けが、火災、故障、破損の恐れがあります。
- ◆ AC 電源ケーブルを傷つけたりしないでください。感電、けが、火災、故障、破損の恐れがあります。
- ◆ 本機器より異常音、異常な臭い、煙などが発生した場合や本機器内に水などの液体が混入した場合は、速やかに主電源を切り、電源プラグを抜いてください。感電、けが、火災、故障、破損の恐れがあります。
- ◆ ご使用の前に必ず本取扱説明書を読んでいただき、その指示に従って正しくお使いください。誤った使い方をされると、感電、けが、火災、故障、破損の恐れがあります。

注意

<ご使用上の注意>

- ◆ 「塩害が発生する可能性のある地域」や「海水の影響を受ける可能性のある地域」では、使用しないでください。鋭塩害による故障、破損の恐れがあります。
- ◆ 本機器は、内部に電源を内蔵しているため表面温度が高くなる部位がありますので、ご注意ください。火傷の恐れがあります。
- ◆ 本機器を、仕様範囲外で使用しないでください。感電、けが、火災、故障、破損の恐れがあります。
- ◆ 故障、破損および焼損した本機器は、使用しないでください。感電、けが、火災の恐れがあります。
- ◆ 使用されない場合は、主電源を OFF にして、AC 電源コードを抜いてください。感電、けが、火災、故障、破損の原因となります。

<運搬>

- ◆ 製品の過積載は、荷崩れの原因となりますので外箱の表示に従ってください。けが、破損の恐れがあります。
- ◆ 運搬時は、転倒すると危険ですので十分ご注意ください。けがの恐れがあります。
- ◆ 本機器の質量は大きいので、取り扱いの際に十分注意してください。腰痛など、けがの恐れがあります。

<取り扱い>

- ◆ 本機器に無理なストレスをかけたり、本機器上に重いものを載せたり、上についたりしないでください。破損、故障、感電、けがの恐れがあります。
- ◆ 本機器は、取っ手を持って運搬してください。けが、故障、破損の恐れがあります。
- ◆ 本機器を落下させたり、強い衝撃を与えないでください。故障、破損の原因となります。
- ◆ 本機器を接続ダクトが付いた状態や三脚等が付いた状態で移動する場合、落下、転倒させないように注意してください。けが、故障、破損の恐れがあります。
- ◆ 使用方向を守ってください。故障、破損の恐れがあります。
- ◆ 吸排気口から異物が入らないようにしてください。けが、故障、破損の恐れがあります。
- ◆ 60℃以下の不燃物に取り付けてください。火災、故障、破損の恐れがあります。

<電源ケーブル接続>

- ◆ AC 電源ケーブル接続は、取扱説明書に従って正しく確実にこなってください。感電、けが、火災、故障、破損の恐れがあります。

<操作・運転>

- ◆ 極端な入力電源電圧の変動下での使用は、動作が不安定になる可能性があります。決しておこなわないでください。感電、けが、火災、故障、破損の恐れがあります。
- ◆ 運転中は補助ファンが回転します。吸気、排気口から異物が入らないように注意してください。

また排気側から指を入れないように注意してください。けが、火災、故障、破損の恐れがあります。

<保守・点検>

- ◆ 本機器に使用している部品（ファンモータ、ガスケット、電解コンデンサ、センサー、LED、スイッチ類）には、経年劣化があります。予防保全、測定精度の維持のため、推奨点検年数を目安に保守・点検を行ってください。保守・点検および修理は、当社までご連絡ください。お客さまでの分解は行わないでください。分解すると、動作不良、感電、けが、火災、故障、破損の原因となります。

禁止

<取り扱い>

- ◆ ダクトに鋭利な物をあてないでください。ダクトの生地が破ける恐れがあります。

<操作・運転>

- ◆ 入力電圧範囲を超える過電圧が印加された場合、感電、けが、火災、故障、破損の恐れがあります。絶対に仕様を超える電圧での使用はしないでください。
- ◆ 付属の通信用ケーブルに静電気、高電圧などを印加しないでください。故障、破損の原因になります。

<保管>

- ◆ 雨や水滴のかかる場所、有害なガスや液体のある場所では、保管しないでください。故障、破損の原因になります。

<保守・点検>

- ◆ 分解点検および修理をおこなわないでください。感電、けが、火災、故障、破損の原因になります。
- ◆ 絶縁抵抗、絶縁耐圧の測定は、おこなわないでください。故障、破損の恐れがあります。
- ◆ 主電源がONの状態では AC 電源ケーブルを抜き差し（活線挿抜）すると、発生するサージ電圧によって、電子部品が故障、破損する恐れがありますので、絶対におこなわないでください。感電、けが、火災の恐れがあります。
- ◆ 銘板を取り外さないでください。本製品の識別ができなくなり、製品保証ができなくなります。
- ◆ シンナー・ベンジン等の溶剤で本機器を拭かないでください。変形、変質、変色、故障、破損する恐れがあります。

強制

<操作・運転>

- ◆ 異常が発生した場合は、直ちに運転を停止してください。感電、けが、火災、故障、破損の恐れがあります。
- ◆ 異常時に備え、主電源をいつでも“OFF”にできる状態を確保してください。主電源を“OFF”に出来ない場合、感電、けが、火災、故障、破損の恐れがあります。
- ◆ エラー発生時は、原因を取り除き、安全を確保してから再開してください。
- ◆ 決められた温度、湿度範囲内でご使用ください。故障、破損の原因になります。
温度 0℃～40℃ / 湿度 20～85%RH（結露なきこと）

<保管>

- ◆ 直射日光の当たる環境、高温多湿の環境下で保管しないでください。故障の原因になります。保管する際は、直射日光を避けた常温・常湿環境下で保管してください。
- ◆ 本機器の保管が長期間に渡った場合は、当社までお問い合わせください。長期間の保管により部品が劣化し、メンテナンスが必要となる可能性があります。

<廃棄>

- ◆ 本機器を廃棄する場合は、産業廃棄物として処理してください。